

# 第23回 青少年のための科学の祭典

## 日立大会

### 出展案内

- 1 出展案内を受け取った皆様へ
- 2 大会の概要
- 3 出展形式
- 4 募集ブース数
- 5 出展規定
- 6 出展申込み
- 7 詳細調査

子ども達に素晴らしい科学の思い出を！

楽しい科学があふれるイベントを作りましょう！



科学の祭典全国共通イラスト

## 1 出展案内を受け取った皆さまへ

2000年12月、旧科学技術庁の委託事業「青少年のための科学の祭典・茨城大会2000」が日立市において開催され、18,000人の小中学生が科学の楽しさに目を輝かせました。その灯を絶やすまいと、翌2001年に産声を上げた「青少年のための科学の祭典・日立大会」も、献身的な出展の先生方と毎年3,000人前後が訪れてくれる子どもたちに支えられ、令和元年まで連続19回を数えました。しかし、新型コロナウイルスの影響により第20回はWEB開催となり、そして一昨年度の第21回は中止となってしまいましたが、3年振りの対面大会となった昨年度の第23回大会には、3,400人を超える親子が科学を楽しみに戻って来てくれました。

科学の祭典全国大会は、「今、とにかく実体験の場が消えている！科学の魅力を体験できる機会を」と訴えています。コロナ禍を越え、それらの必要性は、さらに増しているのではないのでしょうか。

子ども達が科学と自然に親しみ、身近に感じ、生涯にわたって関心を持ち続けるためには、時代が変わろうとも、子ども時代の**五感を通じた体験活動**が不可欠です。子ども時代の印象的な体験が、その子の興味関心を左右することを、私たち大人は経験的に感じています。日立大会実行委員会も、「実体験から得られる感動と発見が、その子の未来を拓く創造性の原動力につながる」と考えています。

この出展案内をお読みになられている皆様、私たちが子ども時代にときめいた素晴らしい自然科学体験を、時代と世代を越えて子どもたちにプレゼントいたしましょう！皆さんのお力で会場を丸一日、好奇心あふれる科学空間にし、子どもたちの心につか芽を出す**科学の種を蒔こう**ではありませんか。

「楽しそう！」から「なぜ？」に、「なぜ？」から「そうか！」に。科学の祭典は、今年も科学好きの子ども裾野を広げたいと思います。

## 2 「日立大会」の概要

- (1) 名称 第23回 青少年のための科学の祭典・日立大会
- (2) 期日 令和5年10月29日(日)
- (3) 時間 午前9時30分 から 午後3時30分まで
- (4) 会場 日立シビックセンターマーブルホールほか(JR日立駅から徒歩2分)
- (5) 入場料 無料
- (6) 対象
  - ① 来場者 日立市近郊の小中学生(当日の来場は親子での来場が多数の見込み)
  - ② 出展者 県北を主とした小・中・高校教諭、少年団体、企業、青少年育成団体等
- (7) 来場者数 3,000人(令和4年度実績3,416人)
- (8) 主催等
  - ① 主催 「青少年のための科学の祭典」日立大会実行委員会
  - ② 共催 (公財)日立市民科学文化財団、(公財)日本科学技術振興財団、常陸STEM教育研究推進会
  - ③ 助成 子どもゆめ基金、(公財)東京応科科学技術振興財団  
鈴縫工業(株)おひさまの恵みプロジェクト
  - ④ 後援(予定)
    - ・文部科学省 ・全国科学館連携協議会 ・全国科学博物館協会 ・NHK
    - ・茨城県教育委員会 ・茨城大学 ・茨城県高等学校教育研究会理化部
    - ・茨城県高等学校教育研究会生物部 ・茨城県高等学校教育研究会地学部
    - ・茨城県教育研究会理科教育研究部 ・茨城放送 ・茨城新聞社 ・日立商工会議所
    - ・(株)日立製作所 ・日立市 ・日立市教育委員会 ・日立市立小・中学校PTA連合会
    - ・(一社)茨城県子ども会育成連合会 ・(株)JWAY ほか

⑤ 協賛（令和4年度実績 33 件）

- ・大日本図書株式会社 ・株式会社ゆなご教材舎 ・かもめ動物病院 ・まさひろ歯科
- ・弓野ホンダ販売株式会社 ・医療法人惇慈会日立港病院 ・日立厚生医院
- ・グルコピア日立 ・石川クリニック ・柴原皮膚科 ・島田外科医院
- ・医療法人おおたしろクリニック ・医療法人小川医院 ・医療法人社団宏和会日精歯科
- ・医療法人潤聖会 石川内科ファミリークリニック ・助川電気工業株式会社
- ・個別スクール 好学舎 ・株式会社日立機械 ・株式会社朝日精機製作所
- ・中山商事株式会社 ・日立桜ライオンズクラブ ・株式会社サクセス関
- ・日立デザイン株式会社 ・株式会社八幡鉄工所 ・株式会社ヒロエンタープライズ
- ・株式会社関プレス ・株式会社日立物流東日本 ・有限会社戸祭電気商会
- ・日立総合防災株式会社 ・日興建設株式会社 ・常陽電機工業株式会社
- ・株式会社赤羽根 ・エムビー・サービス日本株式会社

(9) 実行委員会

- 実行委員長 松本幸次（元日立市立助川中学校長）
- 副委員長 岩波英一（日立市文化協会長） 萩谷 薫（元茨城県立高萩清松高等学校長）  
大貫弘敏（日立市教育研究会・理科教育研究部長、日立市立豊浦中学校長）
- 委員 照山雄三（元助川電気工業㈱技術本部装置第1設計部）  
根本 充（㈱日立製作所電力ビジネスユニット日立事業所総務部庶務課）  
城塚達也、宮本賢伍（茨城大学工学部） 海野 悟（茨城キリスト教学園高等学校）  
大津政美（元茨城県立日立第一高等学校）  
大貫啓太（茨城県立日立第一高等学校附属中学校）  
田崎嘉子（県北教育事務所） 正木啓道、倉橋久美（日立市教育委員会指導課）  
滝 裕子（高萩市立秋山中学校） 木村安秀（日立市立中小路小学校）  
吉村徹也（日立市立中里小中学校） 成田ひとみ（元中学校理科担当）  
柴田裕一（常陸STEM 教育研究推進会会長、BEST2AIMS㈱代表取締役）  
川崎寿則、高柿勝博（(公財)日立市民科学文化財団科学館事業課）
- 事務局 作間 忍（元日立市立楡形小学校長） 國井 篤（第一学院高等学校）  
飛田賀光（日立市防災対策課） 青木理貴（日立市教育委員会生涯学習課）

### 3 出展形式

主会場であるマープルホールは「ブース形式」となりますが、シビックセンターギャラリー及び新都市広場はエリアを指定し、その中での展開は自由とします。

スペース		什 器
マープル ホール	2.7型 3.6型 4.5型	間口：2.7m、3.6m、4.5m 奥行：1.8m
	その他	上記以外の形状も可能です。申込み後に送付する調査票にご記入ください。
新都市広場 及び ギャラリー	出展物の大きさや量、内容により事務局が調整の上、エリア指定をします。	

※必要数は後日調査します。

## 4 募集ブース数

50ブース程度（令和4年度実績45ブース）

## 5 出展規定

### (1) 出展資格について（講師とアシスタント）

…… ブース運営上の責任から講師は大学生以上とします。高校生以下は、アシスタントとします。

### (2) 出展審査について

…… 出展申込フォームの内容により、安全性について審査を行います。審査の結果によっては、内容の変更をお願いする場合がございます。

安全性の観点は、次のような項目が挙げられますが、安全な範囲と判断されれば規制の対象ではありません。

- ・ 強い酸やアルカリなどの危険な薬品を使用するもの
- ・ 強い光、大きな音、高い熱、強い匂い、大量の煙を伴うもの
- ・ 物理的、電氣的な衝撃を伴うもの

### (3) ブース運営の際の安全について

…… 多くの来場者と混雑が予想されます。管理下に置かれた学校での理科実験とは環境が異なりますので、安全管理には十分に配慮してください。

審査通過後に、使用薬品・火器の詳細な調査をいたします。（6月下旬）

### (4) 実験解説書について

…… 出展者、来場者及び協賛事業所に配布するため、実験解説集を作成します。各出展につき1ページの原稿の執筆を、後日お願い致します。校正は原則設けず、原稿はそのまま印刷します。執筆要領及び様式は、審査通過後に郵送します。（6月下旬）

### (5) 保険について

…… 講師、アシスタント及び来場者全員について、傷害・賠償保険に加入します。

### (6) 材料費、謝金、交通費について

	金額	お支払方法
材料費	当日の実験や工作で <u>直接消費する材料</u> をお支払いします。 <子どもが作品を持ち帰る出展（工作系）> 上限 13,000 円 <子どもが作品を持ち帰らない出展（実験系）> 上限 8,000 円 ※ 材料の購入方法 — 講師の立替えて購入します。	当日、領収書と引き換えで現金でお支払いいたします。 <b>下記【重要】に注意！</b>
謝金	講師一人あたり 1,000 円をお支払いいたします。 ※上限 5,000 円（5人分）	後日銀行振込となります。
交通費	<u>代表講師のご自宅住所</u> に応じて交通費をお支払いします。 ※ 自動車は原則1台のみ（2台目は要連絡） ① 日立市内 支給はありません。 ② 隣接市町村 及び ひたちなか市、那珂市、北茨城市 一律 1,000 円 ③ ②以遠 ※上限 10,000 円 自動車：1 km 当たり 25 円（往復2倍）、高速代は実費 電車：実費	同上 ※高速代は、大会後に往復の利用証明の提出を受けてからの振込となります。

**【重要】** ① 領収書は、**明細付きレシート**で代替できます。

② 領収書の場合は、必ず**店舗発行の明細**を付けて、宛名は、必ず「**青少年のための科学の祭典日立大会実行委員会**」としてください。特に、**通販はご注意ください**。

いずれも不備がありますと助成団体の監査が通らないためにお支払いできません。

【材料の定義】 購入単価が 1 万円以下であり、実験の実演に直接必要な素材や薬品等の消耗品、もしくは参加者が持ち帰る工作等の材料等。

なお、文具や用具（カッター、はさみ、ペン等）に対する支出は、助成団体から「本来は参加者が持参するもの」とみなされ、助成対象外となる可能性が高いことから、購入の際にはお手持ちのものを活用するなど、購入数を最小限にお願いいたします。

(7) 備品について

…… 原則として出展者に準備していただきます。準備が難しい場合は、事務局にご相談ください。

(8) 昼食について

…… 主催者にて用意いたします。ブースの運営に必要な人数のみとしてください。

(9) その他の注意

…… 大会の会場内での政治的・思想的な主張等、子どもの科学体験に関係のない行為は固く禁止します。

## 6 出展申込み

(1) 申込み方法 …… 次の申し込みフォームに必要事項をご入力ください。

<https://forms.gle/yXUqAHtTksgJNdRXA>

(2) 申込み〆切 …… 令和5年5月31日(水)



## 7 詳細調査

出展の申し込みをされた方には、6月下旬に「詳細調査票」を送りいたします。

### 青少年のための科学の祭典・日立大会実行委員会

〈問合せ先〉

日立市教育委員会生涯学習課 担当：青木

〒317-8601 日立市助川町 1-1-1

Tel (代) 0294-22-3111 Fax 0294-22-0465

Eメール [saiten.hitachi@gmail.com](mailto:saiten.hitachi@gmail.com)

(毎日はチェックしません。お急ぎの場合は、電話でお願い致します。)

青少年のための科学の祭典・日立大会ホームページ (「科学の祭典 日立」検索)

<http://saiten-hitachi.sakura.ne.jp/>